



全国で約2万9千人の  
女性団員が活躍中。  
さあ、あなたも!

仲間といっしょに  
街を支え、守ろう  
消防団員  
募集中



消防団や入団に関する詳しい情報は  
【消防団オフィシャルウェブサイト】をご覧ください。

（お問い合わせ先）



総務省消防庁

Fire and Disaster Management Agency

# 消防団員募集中

よくある質問 現役女性団員さんに聞いてみました!



Q. 入団を考えている方にメッセージはありますか?

A. 災害時に地域住民の安心・安全を守るという地域貢献にやりがいを感じています。消防団の活動服を着て、消防車両や資機材に触れることができます。

Q. 活動はボランティアなの?

A. 報酬があります。年ごとに支給される報酬や、災害活動・訓練に出勤した際の報酬などがあります。



【応急手当訓練】



松戸市消防局提供

【消火・防災訓練】



笠間市消防本部提供

【防火指導】



岡山市消防局提供

【水防訓練】



松戸市消防局提供

【避難誘導】



松戸市消防局提供

## 【編集後記】「新しい防災気象情報」

「大雨警報」や「洪水注意報」などの気象や防災の情報が今年5月下旬から大きく変わる事となった。これまでの警報・注意報は、例えば「大雨警報」の中に「浸水」に対する警戒と「土砂災害」のそれとの2種類が混在している、とか、どの情報がどの程度の危険を示し、発令時にどんな行動をとればよいのかわかりにくい、などの点が指摘されていた。新しい制度は、災害を「河川氾濫」、「大雨」、「土砂災害」、「高潮」の4つに区分したうえで、危険度や取るべき避難行動に応じて5段階の警戒レベルを設定し、その名称も「特別警報」、「危険警報」(新設)、「警報」、「注意報」、「早期注意情報」に統一することとされた。これにより自治体が出す避難情報との関連性がより明確になり、住民が災害時に取るべき避難行動も直感的にわかるようになる、という。効果のほどは実際の運用が始まってみないとわからないが、国民や防災関係者に十分に説明し周知することが肝要である。

地域防災に関する総合情報誌 **地域防災** 2026年2月号(通巻66号)

■発行日 令和8年2月15日

■発行所 一般財団法人日本防火・防災協会

■編集発行人 高尾 和彦

〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目9番16号(日本消防会館内)

TEL 03(6280)6904 FAX 03(6205)7851

URL <https://www.n-bouka.or.jp>

■編集協力 近代消防社